



## 税金のありがたみ

大田区立大森第十中学校 三年 青木 咲夏

中学二年生のとき、私は大田区の海外派遣団に選ばれ、アメリカに行きました。初めての海外はとても貴重な経験で、私自身さまざまな面で大きく成長することができました。本来海外へ行く場合は多額のお金がかかりますが、区の税金によって支払われたので、無料で海外に行くことができました。それまでは、税金は消費税くらいしか私と関わりがないと思っていましたが、海外派遣を通して自分と関係のあるところで税金が使われていたことを知り、税金に対してありがたみを感じました。

学校で税金についての授業を受けて、税金は私達に身近な多くのものに使われていることがわかりました。例えば、道や橋、図書館などの公施設、警察署や病院など、私達の生活には決して欠かせないものがあります。その中で、私が特に気になった税金の使い道は二つあります。

一つ目は医療費です。日本は欧米と比べて安い料金で病院にかかることができます。それは日本に「国民健康保険」という制度があるからです。この制度のおかげで、治療費のほとんどを国の税金が負担してくれています。私は小学生の頃からたくさんスポーツを習っていたのもあり、人一倍怪我が多く、整形外科の先生に治療してもらったことが多かったの

ですが、私が怪我を治して過ごすことができてるのは税金のおかげでもあるので、税金に感謝したいと思います。

二つ目は教育費です。調べたところ、一年間で一人あたりの小、中学生に使われる税金は約百万円だそうです。そう考えると、小学校に入学してから中学校を卒業するまでの九年間で、一人につき一千万円近くもの税金が使われることにとても驚きました。私が学校で授業を受けることができてるのは、税金のおかげなのだ実感しました。こんなにも多くの税金が自分に使われているので、今までよりもさらに一生懸命に勉強しなければならぬと感じました。

このように、税金は私達のためにさまざまなことに使われています。もしも税金がなければ、医療費を自己負担しなければならぬでしょう。もしも税金がなければ、授業料が高くなり、ひとりひとりの負担が大きくなってしまってしまうでしょう。もしも税金がなければ、私は海外派遣に行けず、貴重な経験をすることはできなかつたでしょう。私は税金に支えられて日々成長することができています。今までは、ただなんとなく消費税を払っただけでしたが、自分の海外派遣の経験などから税金の在り方や必要性を学び、税金のありがたみを感じることができました。そんな税金への感謝の気持ちを忘れずに、今後も税金を払っていききたいと思えます。